

## 相愛大学研究シーズ集

シーズ名	音楽理論及びソルフェージュの研究・指導／作曲	
所属	音楽 学部	音楽 学科
氏名	川崎真由子	
<p><b>【概要】</b></p> <p>音楽理論やソルフェージュは音楽家の基礎的な訓練に過ぎないと捉えられる傾向がありますが、「知的に認識すること」、「感覚や身体的な反応によって表現すること」など多面的に音楽を捉えるための総合力を身につけるためには欠かせないものです。</p> <p>本研究は、大きく音楽理論そのものの研究と指導法の研究に分かれます。ソルフェージュでは実際の楽曲を使ったソルフェージュの指導法、フォルマシオン・ミュージカルの研究を主に行っており、それはソルフェージュをソルフェージュの科目だけにとどめない、和声法や対位法、楽曲分析などの音楽理論科目を横断した指導法の研究に繋がっています。また指導法研究のため、西洋音楽の作曲家の個人様式の研究を長期的に行なっています。特にフランス近代を中心とした作曲技法を専門としており、論文『ラヴェルの対位法』の執筆を機に、研究範囲は中世やルネサンスの対位法にも広がっています。</p> <p>研究結果は実際の指導への還元、また学会での研究発表や音楽理論書の執筆、古典の研究から得た知見を現代の音楽に応用する形で作品発表をすることで公開しています。作品創作の面では、古典の応用をキーワードにしつつ現代詩人とのコラボレーションを通して、活動の場を広げています。今後実践を重ね、音楽理論やソルフェージュを活用して自身の表現を広げられる音楽家の育成を目標とし、さらに研究を深めていきたいと考えます。</p>		
キーワード	音楽理論、ソルフェージュ、作曲、現代音楽	